

2024年10月入学予定者・
2025年4月入学予定者対象

次世代研究者挑戦的研究プログラム
リゾーム型研究者人材育成による学際知ブルーミング

学生募集要項

大阪公立大学
博士人材育成支援室

2024年7月

1. 事業の目的

本学では、それぞれの研究の深化・発展の場としての博士後期課程を、他の領域・分野の専門知を積極的に吸収し、多様な専門知を有機的に結合して社会課題の解決や先導的研究領域の創成、未来の社会像を抽出してそれを具現化する能力を養成する「総合知養成の場」へと発展させることを目的として、「リゾーム型研究者人材育成」を掲げてきました。

これをさらに展開して、本学が地域中核・特色ある研究大学強化促進事業で掲げる「マルチスケールシンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築」に貢献し得る人材を持続的に輩出することを目的として、視野の広いリゾーム型の研究者を目指す優秀な博士学生を支援します。

2. 申請資格

- 1) 2024年10月入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）の研究科に出願中であり、標準修業年限内（長期履修生の場合は認められた期間内）に学位を取得する意思のある者（申請前に、指導予定教員とご相談ください）。
- 2) 2025年4月入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）の研究科に出願中または出願予定であり、標準修業年限内（長期履修生の場合は認められた期間内）に学位を取得する意思のある者（申請前に、指導予定教員とご相談ください）。

3. 支援内容

本事業に採用決定された学生に対しては、以下の支援を行います。

- 1) 研究奨励費（生活費相当額）：年間210万円
- 2) 研究費 年間10万円または20万円
- 3) キャリア開発・育成コンテンツ費：申請審査あり

海外留学（1～3ヶ月以上 支援期間中1回 上限150万円）、国際学会、インターンシップ、国内留学、自主プロジェクト活動、論文投稿（ジャーナル投稿料 翻訳校閲料）、国内学会等

4. 支援期間・支援対象者

(1) 支援期間

- ・2024年10月入学予定者： 2024年10月1日から標準修業年限まで
- ・2025年4月入学予定者： 2025年4月1日から標準修業年限まで

(2) 支援対象者

- ・2024年10月入学予定者
本選考に合格した者であって2024年10月1日時点で「2. 申請資格」に記載の課程に在籍し、休学していないこと。
- ・2025年4月入学予定者
本選考に合格した者であって2025年4月1日時点で「2. 申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

※支援期間中に休学する場合は、その事由により支援打ち切りの可能性があります。

また、本選考に合格決定した者であっても、支援開始時点で以下に該当する者は、支援対象外となります。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）に採択されている者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・生活費に係る十分な水準（240万円／年）の奨学金を得ている者
- ・所属する大学や企業等から安定した十分な生活費相当額（240万円/年を基準とする）を受給していると認められる者
- ・次世代AI人材育成プログラム（BOOST）に採択されている者

【注意事項】

- ・本事業に選抜された学生は独立行政法人日本学生支援機構の特に優れた業績による奨学金の返還免除対象から外れることとなります。
- ・生活費相当額ではなく、研究費を支援する事業等であれば、博士後期課程学生が当該事業等の支援を受けていても本事業の支援対象となりますが、あらかじめ支援実施事業者の本事業との重複が可能か確認することが必要です。

5. 支援学生の責務

本事業で支援される学生には、人材育成の観点から一定の責務を課す予定です。

- ・ 副研究科等の副指導教員の選定
- ・ 研究倫理教育及びコンプライアンス教育の受講
- ・ 研究費、キャリア開発・育成コンテンツの実施計画（支援期間全体計画および年度毎経費計画）の立案
- ・ 半年ごとの研究進捗状況報告会にて、進捗状況の報告
- ・ 支援開始後の年度末(秋入学者は前期末)までに国内外留学の計画を立案、標準修学年限内に実施
- ・ 異分野研究交流会への参加（指導教員および副指導教員の参加は任意）
- ・ 年間2回のメンター相談の実施
- ・ 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）への申請（応募資格がある者は必須）
- ・ 一定科目の履修
- ・ JSTおよび本プログラムからのモニタリング調査・追跡調査への協力

申請に当たっては、<https://www.omu.ac.jp/spring/> より、プログラム説明資料 <https://www.omu.ac.jp/spring/info/news1/entry-58886.html> を参照して、プログラムの趣旨を十分に理解してください。

上記のような責務を遂行するためには、指導教員の理解が不可欠です。申請前に、必ず指導予定教員の了解を得てください。

6. 採用人数

2024年10月入学予定（2024年10月支援開始） 採用候補者5名程度

2025年4月入学予定（2025年4月支援開始予定）採用候補者20名程度（予定）

7. 主な日程

1) 申請期間

2024年7月26日(金)～8月9日(金) 12:00（申請フォーム入力期限）

2024年7月26日(金)～8月9日(金) 15:00（小論文・写真提出期限）

2) 面接日時通知

2024年8月23日(金)までに、申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知

3) 面接

2024年8月26日(月)～9月6日(金) 9時～17時30分のうち指定する25分程度

4) 内定者発表

2024年9月30日(月)を予定

内定者に申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知

※ 電話等による選考結果に関する照会には一切応じません。

8. 申請方法

1) 申請先

[博士学生支援事業申請フォーム](https://forms.office.com/r/wed8M2DV9q) <https://forms.office.com/r/wed8M2DV9q>

にアクセスして必要事項を入力ください。

入力(送信)期限: **申請期間最終日 2024年8月9日(金)の 12:00**

併せて、2) に記載の二つのファイルを下記ファイル送信先へ送付してください。

ファイル送信期限: **申請期間最終日の 15:00**

ファイル送信先 : gr-knky-2024dss@omu.ac.jp

※ファイル受領の確認メールは発信いたしません。

※2つのファイルは暗号化したうえで送信し、解凍用パスワードを別メールで送信ください。申請期間内に申請フォームの送信を完了し、2つのファイルを提出すれば申請は完了します。入力内容や提出書類に不備のある場合には事務局から連絡する場合があります。

※上記申請フォームは入力項目が多いので、予想以上に時間がかかる場合があります。申請期間を過ぎないように、時間に余裕をみて申請ください。また、入力期間中に上記フォームに複数回入力(送信)しないようにしてください。万が一、複数回入力(送信)した場合には、最後に入力完了(送信)したもののみ有効として受理します。

2) ファイル

- ・(様式1)を用いて作成した小論文

ファイル名を「学籍番号_氏名.pdf」としてください。(必ず、pdf形式としてください)。

- ・肩より上が写った顔写真(jpg、bmp、png形式)

ファイル名を「学籍番号_氏名.jpg(あるいはbmp、png)」としてください。

※申請時点で、本学に所属しない場合は、学籍番号の入力は不要です。

(様式1)は <https://www.omu.ac.jp/spring/assets/attachmentfile/attachmentfile-file-49921.docx> からダウンロード出来ます。

【注意事項】

- (1) 申請書類に不備のあるものは受理できません。
- (2) 申請時に提出された書類は返却しません。
- (3) 申請手続後は書類の変更は認めません。
- (4) 入力事項や提出書類の記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本事業への参加資格を取り消す場合があります。
- (5) 申請にともなう個人情報等は、選考目的以外には使用しません。
- (6) 選考に係る検定料は無料です。

9. 選考方法

1) 試験内容

| 試験科目 | 配点 | 概要等 |
|------|------|---|
| 小論文 | 100点 | (様式1)に従って作成すること。 |
| 面接 | 100点 | オンラインで実施します。冒頭7分程度で小論文の内容をプレゼンテーション(PowerPoint等使用可)、その後13分程度の質疑応答を行います。 |

2) 判定方法

小論文ならびに面接の採点結果に基づき評価します。

採点はルーブリック評価表の項目内容に沿って、実施されます。ルーブリック評価表は https://www.omu.ac.jp/spring/assets/jp_rubric_20240111_1.pdf を参照ください。

10. 面接日時および場所(オンライン)

- ・ 申請書類受理後、2024年8月26日(月)～9月6日(金)のいずれかの日時を指定します。
- ・ 上記期間内で、学会発表等の正当な理由により面接を受けることができない時間帯がある場合は、申請フォームの所定欄に理由を添えて面接を受けられない時間帯を明記してください。(後日、理由を証明する文書等の提出を求める場合があります)。ただし、これによって特定の時間帯以外での面接を確約するものではありません。
- ・ 面接の所要時間は最大約25分です。
- ・ 実施日時、ならびにZoomのURLは、8月23日(金)までに、申請フォームに記載の電子メールアドレス宛にお知らせします。当日16時30分までに連絡がな

かった方は、必ず同日 17 時まで、「12. 問い合わせ先」に記載のメールアドレスまで連絡してください。

【注意事項】

- (1)自然災害等により、面接が予定通り実施できない場合、「緊急のお知らせ」をメールで配信しますので、確認してください。
- (2)面接当日の緊急連絡先は、「12. 問い合わせ先」と同じです。

11. 注意事項

本事業の選考の可否は、大学院入試とは関係ありません。入学前に本事業に合格されても、大学院入試は免除されません。また、本事業では、入学料・授業料の減免・補助は行いません。（入学料・授業料の減免・補助その他の本学で実施する経済支援制度については、それぞれの制度担当にお問い合わせください。）

12. 問い合わせ先

本事業申請について質問がある場合は、下記あてに問い合わせください。
なお、問い合わせはメール受付のみとします。予めご了承ください。

大阪公立大学研究推進課 博士人材育成支援室

メール：gr-knky-2024dss@omu.ac.jp

小論文

| | |
|---------------|--------|
| 氏名 | |
| 所属 | 研究科 専攻 |
| 指導教員 | |
| 研究題目 | |
| 研究キーワード(5個程度) | |

※申請段階で決まっていない場合には、予定者名あるいは想定している研究科名等を必ず記入のこと。

次ページ以降に、下記の要項に従って、小論文を書いてください。

- フォーマットは添付のフォーマットを使用ください。
 - 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。
 - 説明には補足的に図・表・グラフなどを使用しても良い。ただし添付フォーマット(4 ページ)以内とします(本ページを含めると5 ページ以内)。英語の場合は、最大 3000 ワードとします。本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。
 - 各設問の最後括弧内に文字数を記載してください。
 - 小論文のテーマは以下の内容で記載してください。
- 1) 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性(先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。そのうえで、学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。日本学術振興会特別研究員に応募した者は、補足資料としてその申請書を本小論文とは別に添付しても良いものとします。
 - 2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
 - 3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、またそれを自身の研究にどのように取り入れようとしているかを記述してください。
 - 4) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。
 - 5) 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキルを身に付けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。

【小論文】

- (1)-1 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性（先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。異分野の人が読んで理解できる表現で記述してください。（1200文字程度）図表を用いる場合は、第5ページにまとめてください。

（文字数）

(1)-2 学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。(600 文字程度)

(文字数)

(2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出 のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
(600 文字程度)

(文字数)

- (3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、それを自身のキャリアにどのように役立てようとしているのかを、簡潔かつ具体的に記述してください。単に研究の効率や確度の向上の手段を問うているものではありません。異分野の研究の導入によって、自身のテーマをどのように拡張し、自身のキャリアにどのように生かそうと考えているのかについて記述してください。(500 字程度)

(文字数)

- (4) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、将来社会においてどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。(500 文字程度)

(文字数)

- (5) (4)で記述した内容を実現するために、どのようなトランスファラブルスキルが必要と考えているか、および、それを獲得するための方法について、簡潔かつ具体的に記述してください。(500 文字程度)

(文字数)

図表を用いる場合は、このページに貼り付けてください。図表番号やキャプションを付して、申請中の引用箇所が明らかになるようにしてください。